

工業技術新聞

発行所
工業技術新聞社
大阪市福島区吉野2丁目
15番1号(松井ビル)
電話06(6225)0355代
購読料1年12,000円
毎月20日発行

持続可能社会の構築に貢献する

『インパクトブロー』な各種リサイクル装置

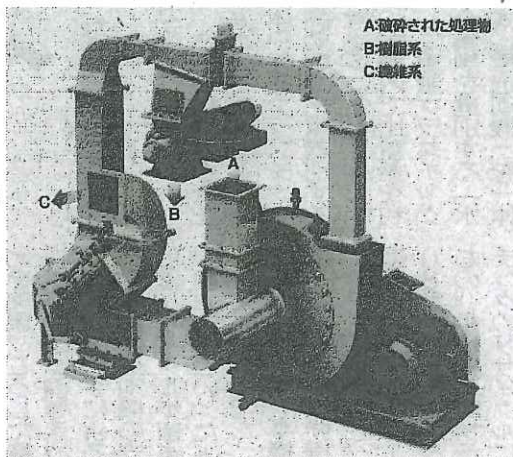
辰巳エヤーエンジニアリング

辰巳エヤーエンジニアリング(東大阪市水走二一四一五、〇〇七二一九六二一九一〇〇)は、五月十四日～十六日までインテックス大阪で開催された「リサイクルテックジャパン」に、廃棄物をリサイクルして資源化する装置各種を出展し、好評を博した。

国際連合が提唱する「持続可能な開発目標」(SDGs)に賛同する

同社では、長年の経験から培った技術・ノウハウを活かした集塵装置を用いて、①生産設備から排出される余剰資材の分別・収集装置の設計・製造②装置を通して工場環境の改善と大気汚染対策の提案③環境アセスメントを意識した装置や設備の開発——などを実施。環境に配慮した持続可能社会の構築に貢献する。

同展示会で紹介された製品をいくつか紹介すると――



インパクトブロー

「インパクトブロー」度かつ多回数衝撃を与え、自動車の内装材(防音材、天井材)やタイルカーペット・マットといった繊維と樹脂などが複合的に組み合わされた素材を剥離させ、樹脂固体を再利用可能な細粒まで粉砕する素材分離ブロー装置である。

同機は、高圧ファンの吸入口から吸入した複合素材をインペードで放出し、樹脂固体は鋸刃形状の破砕刃に衝突。高密

繊維に分離することが出来るためリサイクルが可能になる。

「SPCシステム(SAP・PULP・COLLECTION SYSTEM)」は、紙パルプ・プラスチック、SAP(高分子吸収剤)などで構成される紙おむつをSAPとパルプに分離・回収するSAP・PULP回収システム、紙おむつのロス品のリサイクルを実現する。

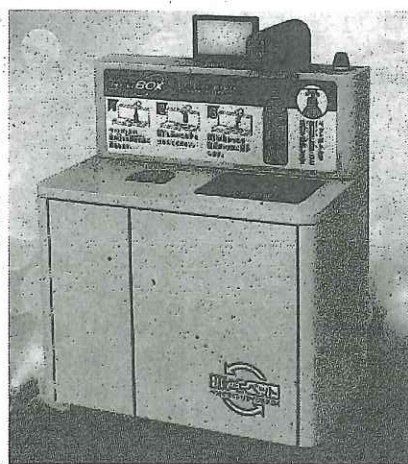
同システムは、①二段式SAP回収機②SAPパルプ回収設備制御盤③パルプ回収機④解砕定量供給機⑤分離機⑥メインファン⑦バグフィルター⑧粗破砕機⑨ブローファン⑩受入コンベア——などで構成。分離機能は極めて高く、高純度に分離・回収が行え、リサイクル

ルに役立つ。

「吸ベット」は、使用後のベットボトルを吸引口に押し当てると自動でボトルの内部に吸引し、圧縮減容するベットボトル回収ボックス。減容し終えたと下部の収納ボックスが開き、軽い逆噴射でボトルを落として収納する。

ねじ部を壊さずリサイクルに最適な形状で減容できる上、キャップの回収も設けられているのでベットボトルのリサイクル率向上に貢献する。本体は極めてコンパクト。AC100Vで稼動するのでスーパーの店頭やイベント会場に設置してベットボトルのリサイクル推進に役立つ。

<https://www.tatumi-air.co.jp>



吸ベット